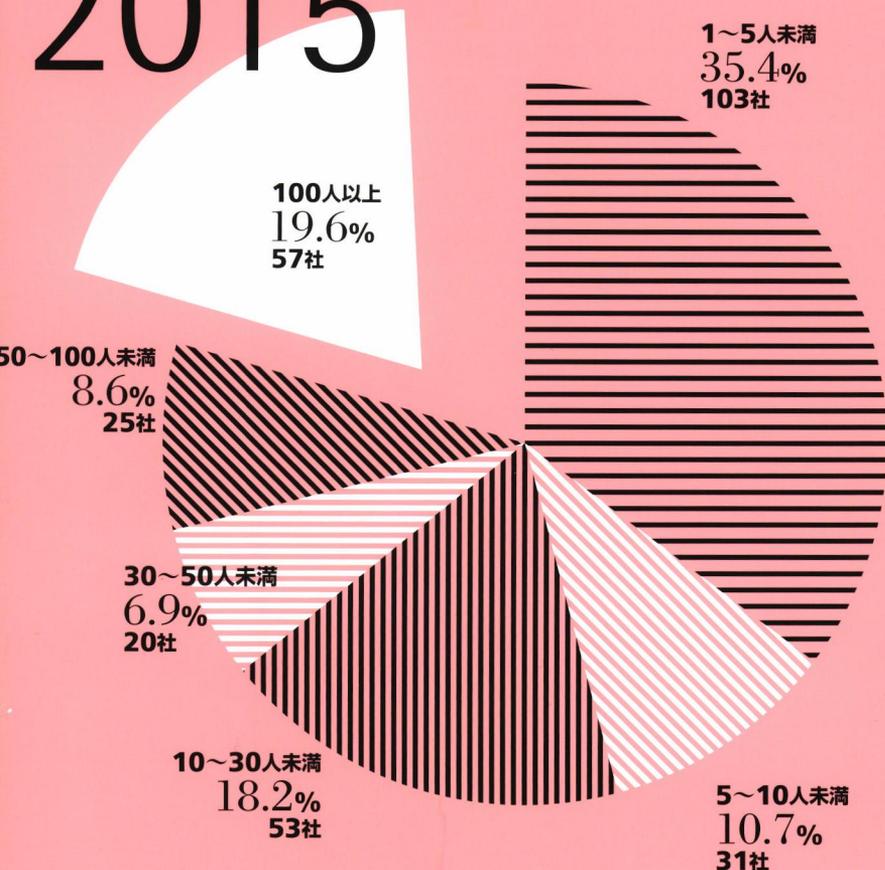


Mécénat Report 2015



社員参画数 [企業]

企業数ベース N=291

Mécénat Report 2015

目次

03 調査研究事業について

04 メセナの「現場」を、世界に開け

2015年度 調査結果に寄せて

TOA[株] 経営企画本部 広報室主事／

[公社]企業メセナ協議会 調査研究部会長 吉村真也

06 回答企業・財団プロフィール

08 2015年度「メセナ活動実態調査」の基礎データ

メセナの手法と分野 ——— 08

メセナの実施体制 ——— 10

メセナの目的 ——— 12

メセナの活動地域 ——— 14

15 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラム

16 メセナの事例紹介

文化施設 | 顕彰・アワード・コンペ | お祭り・文化財
若手育成・ワークショップ・雇用創出 | その他

21 企業メセナ協議会の事例研究

22 [公社]企業メセナ協議会 会員一覧

調査研究事業について

企業メセナ協議会では、民間によるメセナ(芸術・文化振興による社会創造)活動の現状を探り、さらなる推進をはかるべく、さまざまな調査研究事業に取り組んでいます。

なかでも「メセナ活動実態調査」は、全国の企業および企業財団を対象に、1991年より継続して実施しているものです。メセナ活動の規模や手法、実施体制、時事的な事柄についてたずね、集計により得られた全体的な動向や、取り組み内容、現場の意識等について、協議会会員有志からなる調査研究部会との分析を加えて公表しています。日本におけるメセナに関する唯一の統計調査として、企業各社、官公庁や地方自治体、研究機関、マスコミ等でも広く活用されています。

2015年度「メセナ活動実態調査」では、アンケート調査に寄せられた回答のほか、公開資料や協議会保有データもあわせ、メセナの最新動向をまとめました。協議会では、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機としながら、全国各地の文化への社会投資を推進し、企業メセナのいっそうの充実を目指す「Creative Archipelago(創造列島)」を提唱しています。今後も調査研究事業を通じて、企業メセナの価値を追究するとともに、メセナの推進と文化による社会創造に努めてまいります。

本調査にご協力をいただきました、すべての企業・企業財団の皆さまに御礼申し上げます。

公益社団法人企業メセナ協議会

本調査でいう「メセナ」とは:

「芸術・文化振興による社会創造」を幅広く捉え、企業による芸術・文化(支援)活動、およびこれを通じた教育、福祉、環境、地域振興等のあらゆる社会課題解決への取組みを指します。
※「メセナ」の例…公演や展覧会等の開催/文化施設等の運営/資金支援/人的・物的支援/
ノウハウや場の提供/顕彰やコンクール/ワークショップや人材育成事業/まちづくり・次世代育成・災害被災地支援等の取組みで、芸術・文化の要素を含むプログラム など

2015年度調査の概要:

調査内容……………2014年度(2014年4月1日~2015年3月31日※)のメセナ活動実施状況・実施内容・体制等
※企業財団は各財団の事業年度に順じた期間
調査対象……………[企業]日本国内企業約1,700社:直近5年間における「メセナ活動実態調査」
(対象:全上場企業、非上場売上高上位300社、企業メセナ協議会会員企業、協議会顕彰事業「メセナアワード」応募企業等)への回答企業約1,300社、および協議会調べ企業約400社
[財団]事業内容に芸術・文化活動を含む企業財団・公益信託など約300団体
※企業本体の出捐だけでなく企業オーナー個人が拠出している財団・公益信託も含む
調査方法……………郵送、インターネット、電子メール等によるアンケート調査
アンケート実施期間……………2015年6~8月
回答数……………[企業]455社 [財団]206財団

メセナの「現場」を、世界に開け

2015年度 調査結果に寄せて

TOA[株] 経営企画本部 広報室主事／
[公社]企業メセナ協議会 調査研究部会長
吉村真也

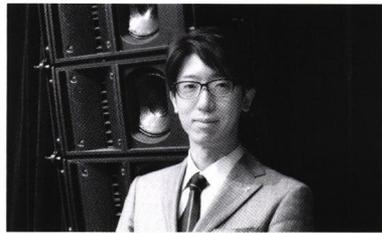
近年の調査レポートで、ジャパン・メセナが自社の特色をいかし、多様な担い手との協働により世界に誇る多様性を持ち得たこと、そのフィールドは社業やメセナにおいて縁をつないだ「地域」であることを報告してきた。今年の調査結果は、それが一層鮮明になった印象だ。メセナ実施企業の約6割が自主企画で個性を発揮し、8割を超える企業が本社所在地で活動を実施している。その活動に100名以上の従業員が参画した企業は2割に迫る勢いだ。こうした活動は、地域と企業、両方の風土に作用し、化学変化をもたらす。結果として企業とアートを背景に、新しい地域固有の文化が育まれていく。名所旧跡だけでなく「我がまちの〇〇社」だって誇るべき地域資源。百社百様のメセナが、百様の地域文化を創るといっても過言ではないだろう。

一方、オリンピックに向けた文化プログラムについて、2割を超える企業がなんらかの検討に着手していることが明らかとなった。日本文化を発信する得難い機会であるのは自明だが、大切なのは「何を、どう発信すべきか」であろう。日本文化といえば、ともすれば伝統芸能や郷土史的な資源、クールジャパン関連のコンテンツに着目しがち。無論、そのことに異議はないが、あえてメセナ担当者として発言すれば、企業メセナの「現場」だって世界に発信すべき日本文化だ。多様な担い手がまさに化学変化を起こす瞬間、コミュニティがさまざまな対話を経て地域文化を育み、それを継承していく日々の営みこそが、メセナを通して見えてくるリアルタイムの日本の姿ではないだろうか。オリンピック憲章が定める「レガシー」に相当することが、メセナの現場では、ずっと前から行われてきたのである。

こうした営みを、世界に向けて発信すべきだ。例えるなら、企業メセナは「文化のオープンキッチン」。カウンター越しの鮮やかな調理手技に見惚れ、立ち上る炎の熱さに驚き、シェフと

の粋な会話を楽しみつつ味わう料理は格別なもの。文化だって同じだ。なにもオリンピックだからといって、豪華な特別料理ばかりでなくていい。逆風の中でも絶やさなかった看板メニューこそがレストランの特色。自社にできることを、ひたむきに継続してきたことに胸を張りたい。ジャパン・メセナが世界に誇る多様性を持ち得たのは、世界的なイベント誘致の成果ではなく、かかわる一人ひとりが思いを絶やさず、受け継ぎ、活動を進化させ続けてきた結果なのだから。

ありのままのメセナの「現場」を、どうオープンにしていけるのか。その場で起こるすべてを、どう発信していけるのか。当部会にとっても、大きなチャレンジの機会になると気を引き締めている。等身大の企業メセナが描く軌跡が「創造列島」への栄光の架け橋となることを願って。



よしむら・しんや

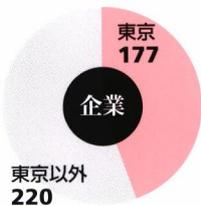
1997年より現職。企業広報業務と、社会貢献・メセナ活動の企画運営を兼務。音響メーカーとしての自社資源を活用し、子どもたちと音楽が出会う場を創出する活動を展開。日本アートマネジメント学会、日本文化政策学会、各会員。

回答企業・財団 プロフィール

回答企業 **455**社
メセナ実施企業 **397**社

回答財団 **206**団体

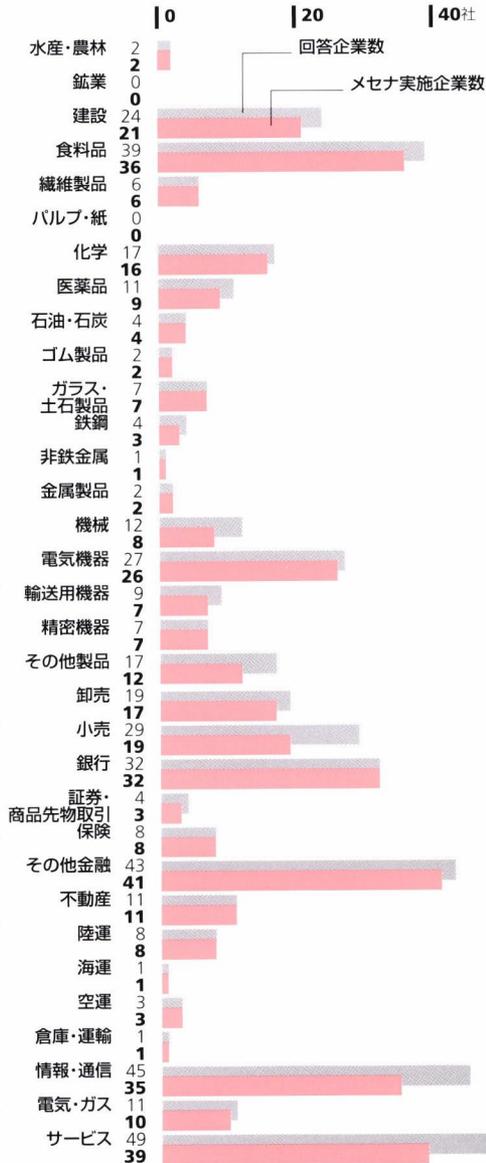
メセナ実施企業・財団数



回答企業・財団の所在地 回答企業の業種

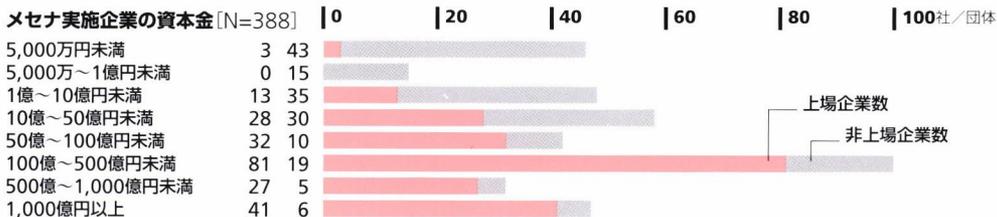
企業 N=455 | 財団 N=206

	回答企業数	メセナ実施企業数	回答財団数
北海道	6	5	7
青森県	1	1	1
岩手県	0	0	0
宮城県	3	2	2
秋田県	1	1	1
山形県	2	2	4
福島県	1	1	2
茨城県	2	2	2
栃木県	5	4	0
群馬県	4	4	1
埼玉県	5	2	1
千葉県	8	8	0
東京都	208	177	72
神奈川県	14	11	3
山梨県	2	2	1
長野県	4	3	2
新潟県	7	7	3
富山県	2	2	2
石川県	3	3	2
福井県	3	2	2
岐阜県	8	8	4
静岡県	12	12	6
愛知県	23	21	7
三重県	2	2	4
滋賀県	5	5	3
京都府	13	12	8
大阪府	34	28	9
兵庫県	15	14	11
奈良県	1	1	3
和歌山県	4	4	2
鳥取県	1	1	1
島根県	2	2	1
岡山県	5	4	6
広島県	8	6	6
山口県	0	0	3
徳島県	3	2	4
香川県	8	8	4
愛媛県	0	0	2
高知県	0	0	1
福岡県	9	8	5
佐賀県	7	7	1
長崎県	1	1	1
熊本県	3	3	1
大分県	2	2	1
宮崎県	2	2	1
鹿児島県	1	1	3
沖縄県	5	4	0
計	455	397	206

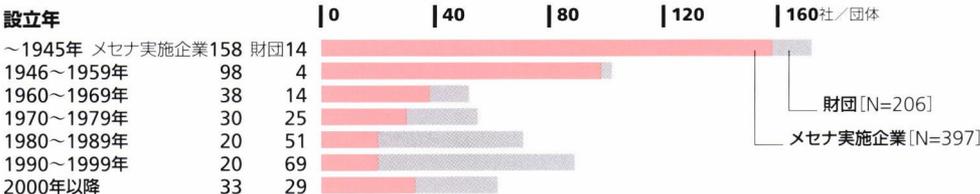
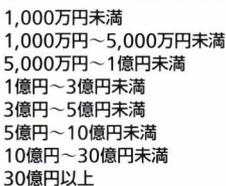


東京に本社を置く企業からの回答が多いですが、業種別に見ると「小売」「食料品」（飲料・酒類、パン、製菓など）「銀行」（都市銀行、地方銀行）「その他金融」（信用金庫、労働金庫等）は概ね全国各地から回答がありました。

企業規模・財団規模



回答財団の年間支出総額 [N=133]



財団の出捐者は、戦前は財閥や実業家が多く、80年代に銀行、食料品、情報・通信、90年代はその他金融、陸運が設立する財団が増えました。2000年代はサービス、繊維製品による財団設立が見られました。

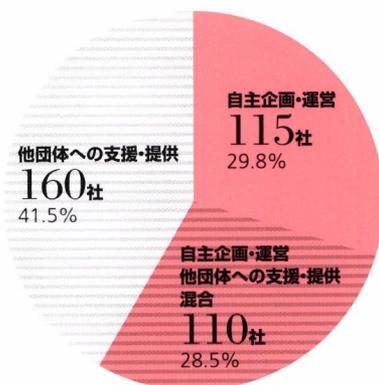
2015年度
「メセナ活動実態調査」の
基礎データ

メセナの 手法と分野

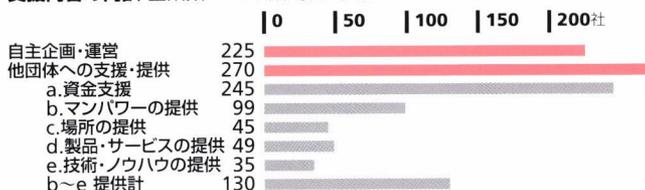
企業は自社独自の経営資源を活用し、さまざまな分野で多様なプログラムを展開しています。メセナ実施企業の約2/3が自主事業を行い、文化団体等への支援・提供を行った企業は、約半数が資金支援のみならずマンパワーや製品・サービス等を活かした支援を行っています。企業財団は、大きく事業型・助成型に分類され、文化施設の運営やアーティストの支援・育成、地域文化振興などに力を発揮しています。

プログラムタイプ「企業」

企業数ベース N=385



支援内容の内訳 企業数ベース MA/N=385



活動分野「企業 | 財団」

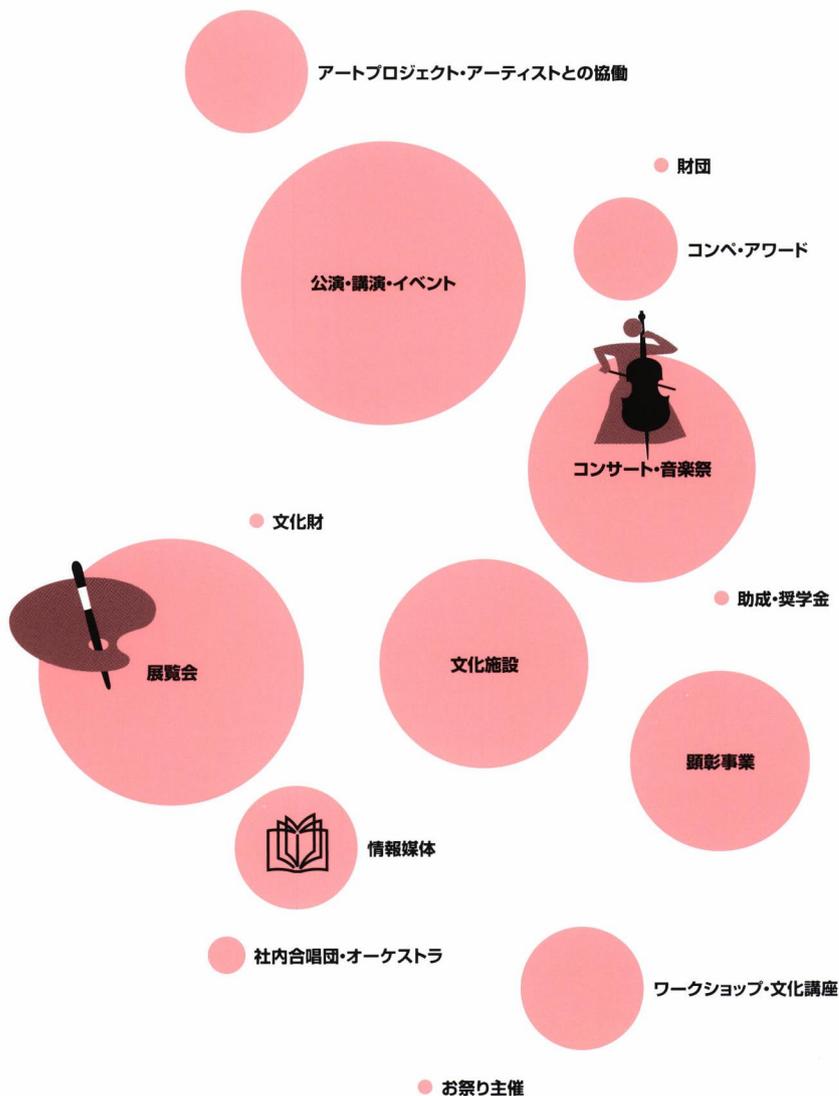
企業数ベース MA/N=385

財団数ベース MA/N=191

活動分野	企業数ベース		財団数ベース				
	自主企画・運営	他団体への支援・提供	自主事業	文化施設	助成	奨学金	顕彰
美術	133	133	85	63	64	6	29
工芸	61	53	44	36	34	3	16
建築	27	23	14	13	14	2	6
映像	49	53	14	9	18	1	10
マンガ・アニメ	13	11	3	2	1	0	1
音楽	141	193	53	23	66	7	33
演劇	35	52	15	9	27	0	13
舞踊	31	35	12	6	27	1	14
芸能	53	65	22	15	32	3	15
祭り・郷土芸能	40	75	17	7	35	2	14
総合的舞台芸術	25	46	8	3	17	1	7
文学	38	43	28	18	23	3	10
文化遺跡	29	39	21	11	18	1	7
ファッション・デザイン	39	31	14	8	10	1	8
ものづくり・産業文化	28	19	21	15	19	1	8
生活文化	58	52	30	20	19	2	12
食文化	27	22	13	10	10	1	4
伝統的娯楽	14	17	4	2	8	0	2
複合芸術	31	46	4	3	8	0	4

自主プログラムの形態〔企業〕

2014年度に実施されたメセナ活動の具体的な内容について、回答のあった2,064件のうち、「自主企画・運営」事業689件のプログラムの形態を概観しました。美術館やホールなど文化施設の管理・運営や、コンテストや顕彰事業、アーティスト支援や協働事業といったソフトプログラム、また情報誌やウェブサイトの発行・運営など、多彩な取り組みが広がっています。



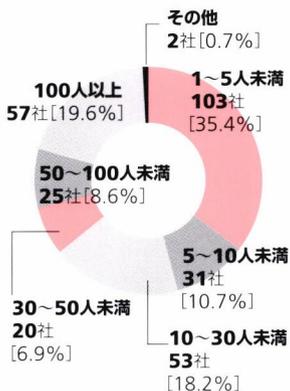
2015年度
「メセナ活動実態調査」の
基礎データ

メセナの 実施体制

メセナの担当部署は、これまで多かった「広報関連」「総務関連」部署から、「CSR関連」部署へと変化してきています。企業のCSRの中に位置づけられることにより、継続的な事業運営が期待されるとともに、ボランティア制度などを利用して社員参加を促すなど、約60社が「メセナへの社員参画数100人以上」と回答しています。実施活動のうち30%が10年以上継続しており、プログラムの定着も見られます。

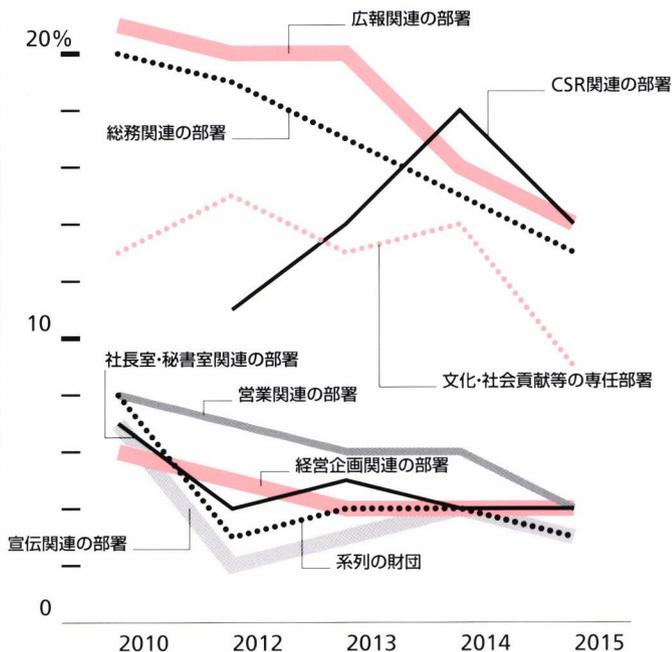
社員参画数〔企業〕

企業数ベース N=291



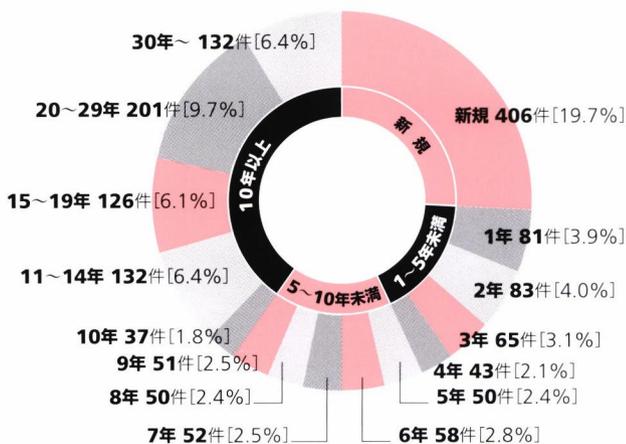
メセナ担当部署の変化〔企業〕

企業数ベース MA/%



プログラムの継続年数〔企業〕

実施件数ベース N=2,064



※継続年数不明・無回答497件〔24.1%〕を除きグラフを作成

活動事業費 [企業 | 財団]

2014年度のメセナ活動費総額

企業

年間事業費総額	219.3億円	[N=286]
活動総件数	3,295件	

財団

年間支出総額	571.8億円	[N=194]
活動総件数	666件	

企業+財団

メセナ活動費総額	893.9億円*
活動総件数	3,961件

*アンケート回答のほか、財団公開情報、協議会保有データをあわせた額

活動1件あたり事業費

企業 実施件数ベース N=1,073

	自主企画・ 運営	他団体への 支援・提供
なし	1	9
～10万円未満	7	76
10万～20万円未満	7	88
20万～30万円未満	11	86
30万～40万円未満	9	70
40万～50万円未満	13	19
50万～100万円未満	37	113
100万～300万円未満	69	122
300万～500万円未満	28	57
500万～1,000万円未満	42	46
1,000万～3,000万円未満	38	50
3,000万～5,000万円未満	18	11
5,000万～1億円未満	11	9
1億円以上	18	8

財団 実施件数ベース N=434

	自主 事業	文化 施設	助 成	奨 学 金	顕 彰
30万円未満	21	2	17	0	1
30万円～50万円未満	6	0	11	1	0
50万円～100万円未満	13	2	25	1	5
100万円～300万円未満	26	1	34	1	16
300万円～500万円未満	13	0	22	1	3
500万円～1,000万円未満	25	3	16	1	5
1,000万円～3,000万円未満	35	8	32	3	5
3,000万円～5,000万円未満	7	2	11	1	2
5,000万円以上	28	11	14	1	2

2015年度

「メセナ活動実態調査」の
基礎データ

メセナの 目的

企業・財団ともにメセナに取り組む目的は、芸術・文化振興のほか、「地域文化の振興」「まちづくり・地域活性化」、「青少年への芸術・文化教育」「次世代育成・社会教育」が引き続き重要なテーマとなっています。また企業では、社業との関連や企業価値の創造の観点から、地域社会や顧客との関係づくりも重視されています。

事業の目的 [企業 | 財団]

企業 企業数ベース MA/N=397

1. 「芸術・文化支援のため」:274社

特に重視した点 企業数ベースMA/N=274



3. 「芸術・文化による社会課題解決のため」:207社

特に重視した点 企業数ベースMA/N=207



2.「社業との関連、企業価値創造のため」:239社

特に重視した点 企業数ベースMA/N=239



財団 財団数ベース MA/N=206

近年設立された財団では、「芸術・文化振興」のほか、「地域文化振興」「国際文化交流」が増加傾向にあります。



2015年度

「メセナ活動実態調査」の 基礎データ

メセナの 活動地域

メセナ実施企業の8割以上が本社所在地域での活動を実施しています。また約半数は本社以外の地域でも活動を行っており、エリア別にみると、東北での活動社数が2番目に多くなっています。東北被災地3県でのメセナ活動は新規19件、継続44件にのぼり、アーティストとの協働プロジェクト、子どもを対象とするワークショップ、祭りや芸能への支援など、現在も文化を通じた復興支援が継続されています。



◎三陸国際芸術祭2014



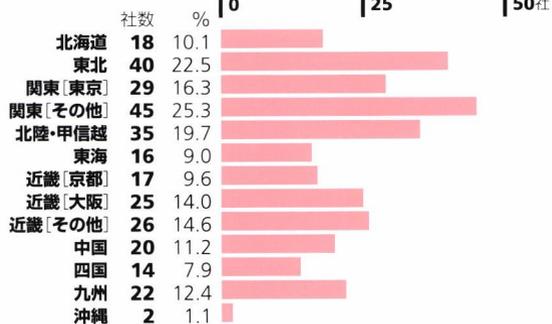
メセナ活動の実施地域「企業」

企業数ベース MA/N=385



「本社所在地」以外のメセナ実施地域

企業数ベースMA/N=178



東北での主なメセナ活動内容

- 子ども・若者**…………… 学校訪問コンサート、子どもオーケストラ運営、アーティストとの絵画ワークショップ、人形劇公演
- 祭り・郷土芸能**…………… 東北地域のお祭り支援、郷土芸能支援
- アートプロジェクト・イベント**…………… 音楽フェスティバル、主催アートアワードや企画展の巡回展、映画祭、映画上映会、写真家とのスタディツアー
- 生活環境**…………… 仮設住宅へ関連グループ会社の製造する陶器食器を寄付

活動例

サントリーホールディングス株式会社 サントリー東北サンさんプロジェクト

被災地の力強い再生に向け、被災地の復興とともに未来の希望に貢献する分野を重視、「漁業」「子ども」「チャレンジ・スポーツ(障がい者スポーツ)」「文化・スポーツ」を柱に包括的な活動を展開。文化分野では公益財団法人サントリー芸術財団とともに以下の活動を実施している。

◎ウィーン・フィル&サントリー音楽復興基金

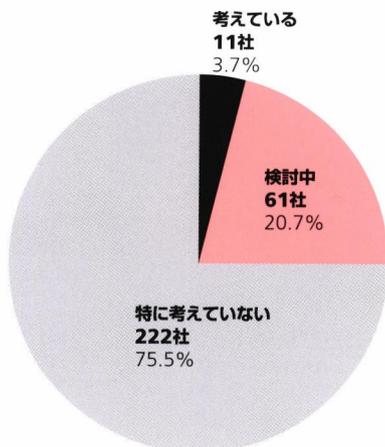
◎サントリー&日本工芸会「おもしろびじゅつ教室 in 東北」

2020年東京 オリンピック・ パラリンピックに 向けた文化 プログラム

2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化プログラムの実施について尋ねたところ、約70社から前向きな回答が得られました。オリンピック公式スポンサーではない企業も積極的に考えており、日本文化の発信や国際文化交流、現行のメセナ活動の発展プログラム、訪日外国人増加に向けた体制づくりなど、検討が始められています。

文化プログラムの実施予定〔企業〕

企業数ベース N=294



「考えている」「検討中」企業のオリンピック公式スポンサーとの関係 企業数ベース N=72



主な検討内容例〔自由回答より〕

日本文化の発信、文化交流

- ◎ 「海外での日本酒ブームが高まる昨今、自社の商品を売り込むだけでなく、日本酒業界やその文化そのものを底上げするような社会貢献プロジェクトを展開したい」(食料品/青森)
- ◎ 「日本のグラフィックデザインやグラフィックデザイナーを紹介することにつながる企画」(その他製品/東京)

現在のメセナ活動の国際化、発展

- ◎ 「社員、スタッフなど、文化・芸術活動に従事する者はたくさんいるので、個人または会社単位で何かしらのプログラムを実施したい」(サービス/東京)
- ◎ 「すでに実施しているメセナ事業において、オリンピック・パラリンピックを意識したプログラムの検討を行うべきと考える」(保険/東京)

その他

- ◎ 「社員および地域の方向けに、各国言語によるゲストとの会話の勉強会、各国文化や日本文化の勉強会等を検討」(情報・通信/東京)

メセナの 事例紹介

9ページで紹介した多彩なプログラムの中から特徴的な内容について、2014年度に実施された活動事例をもとにご紹介します。各地域の文化資源や、各社の経営資源をいかしながら、さまざまなテーマのもと活動が実施されています。

*

掲載事例の多くは企業メセナ協議会のメセナ認定「This is MECENAT」を受けた活動です。その他の活動についても「This is MECENAT」ウェブサイトからご覧いただけます。

mecenat-mark.org



[演劇・音楽・総合的舞台芸術 | 島根]

中村ブレイス株式会社

世界一小さなオペラハウス 大森座

創業の地、石見銀山・大森町で数々のメセナ事業を実施してきた同社が、創業40周年を記念しオープン。長い間、地域の情報発信拠点であった旧郵便局舎を改装。施設名は大正時代この地で人気を誇った芝居小屋「大森座」にちなむ。



[デザイン・美術・工芸 | 京都]

公益財団法人DNP文化振興財団

京都dddギャラリー

グラフィックデザインとアートにまつわる企画展を開催するギャラリー。1991年DNP大日本印刷の関西での文化活動の拠点として大阪に開設。その後財団設立を機に、企画・運営が移管され、展覧会やレクチャーを開催してきた。2014年より京都に拠点を移し活動中。大日本印刷による文化財のデジタルアーカイブへの取り組みを紹介した「DNP京都太秦文化遺産ギャラリー」も併設している。



[美術 | 東京]

株式会社アサツォー ディ・ケイ

ADKアートギャラリー

東京・虎ノ門ヒルズ内の本社オフィスエントランスに隣接して2014年に開設。既存概念に捉われない新しい才能を応援するべく、気鋭の若手アーティストに作品制作を依頼。ADKのためのオリジナル作品を年間を通じ展示している。現在は三宅信太郎「ラビットハウス」を設置(2015年9月〜)。作品を介し、観客とのアイデアの交感の場所となることを目指している。



[美術・複合芸術 | 大阪]

一般財団法人おおさか創造千島財団

MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAWA)

元・工場の巨大倉庫に大型作品を保管、作品公開を行う「見せる収蔵庫」。本社・千島土地株式会社が所有する大阪・北加賀屋の鋼材加工工場跡を借り受け、運営開始。アーティストの制作場所としても提供する。

撮影：守屋友樹 / photo：Yuki Moriya

【ものづくり | 静岡】

しずおか信用金庫

しずおか「夢」デザインコンテスト

静岡の地場産業を支える職人や特産品を次世代に伝えるため、ものづくりの現場取材し紹介する『しずおか特産品解体新書』を発行。さらに「あったらいいな!こんな地場産品」をテーマに市内の小中学生からデザイン画を募集するコンテストを実施。特別賞に選ばれた作品は、地域の技術者や職人により制作される。

【デザイン・美術・工芸 | 沖縄】

株式会社琉球銀行

りゅうぎん紅型デザインコンテスト

沖縄を代表する伝統工芸の「紅型」。若手工芸家の育成と新しいデザイン領域の追及を目指し、プロアマ問わず紅型の手法を使った作品を募集。応募作品の展覧会やワークショップを実施するとともに、入賞・受賞作品は買い取り、主要店舗での巡回展示や通帳、キャッシュカードなどのデザインにも活用されている。

【美術・工芸・建築・デザイン | 東京】

株式会社アーバネットコーポレーション

アート・ミーツ・アーキテクチャー・コンペティション

若手アーティストの育成・支援のため、2001年より開催するアートコンペティション。全国の美術学校に通う学生を対象に、同社開発のマンションエントランスに設置する立体作品を募集。入選には制作費・輸送費を支給、最優秀賞作品は、エントランスに恒久的に展示される。

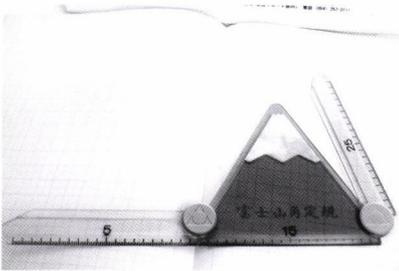
【文学 | 東京】

株式会社光文社

一般財団法人光文文化財団

日本ミステリー文学大賞 | 新人賞

推理小説の発展に貢献のあった作家・評論家に贈られる文学賞。長編ミステリー作品を募集する「日本ミステリー文学大賞 新人賞」も実施。いずれも1998年から毎年開催されている。同財団ではそのほか、めずらしい戦前戦後の探偵・推理雑誌、研究書、書誌などの参考図書を集めたミステリー文学資料館も運営している。





〔祭り・郷土芸能 | 埼玉〕
ボラス株式会社
南越谷阿波踊り

住宅事業を通じてまちづくりにかかわる同社が支援し、住民同士のつながりと地域への愛着を育む「ふるさとづくり」を目指し、1985年より開始。創業者の出身地・徳島の民俗芸能「阿波踊り」を取り入れ、本場徳島・東京高円寺とともに日本三大阿波踊りといわれるまでに成長した。参加連は約80連、同社社員も含め踊り手は延べ6,000人を数える。



〔祭り・郷土芸能 | 東京〕
サミット株式会社
杉並花笠祭り

大型店の進出により地域の商店街を中心に文化行事等が失われつつあることに危機感を持ち、食品スーパーマーケットを営む同社が1990年に開始。地元の大宮八幡宮の表参道を舞台に、山形県東京事務所や東京花笠連合会、地元行政や商店会、取引先等と協力し開催。「地域に密着したスーパーマーケット」として、花笠踊りパレードや、「食」に結び付けたイベントを実施している。



〔文化遺跡 | 熊本〕
株式会社古今伝授の間香梅
古今伝授の間

肥後細川家初代・幽斎から八条宮智仁親王に古今和歌集の解説の奥儀が伝授された学問所「古今伝授の間」。地元熊本の名菓を製造・販売するお菓子の香梅が1998年、建物の維持管理を引き受け、同社を設立。一般公開と訪問者への解説に取り組む。お座敷で抹茶とともに提供されるお菓子のひとつ「加勢ひ多」は、江戸時代に幕府への献上品としていた細川家秘伝の名菓。地元・熊本の文化継承のために復元された。



〔美術・工芸・文化遺跡 | 全国・海外〕
公益財団法人住友財団
国内外の文化財維持・修復事業助成

「文化財は人類共通の財産であり、これを後世に伝えることは、現代に生きる私どもの責務である」との視点から、1991年の設立以来、国内外の文化財の維持修復事業助成を実施。国内は美術工芸品を対象に公募し、文化財としての重要度、修復の緊急度等の観点から対象先を決定。海外は美術工芸品と遺跡の維持・修復およびその事前調査を対象に公募を行い、海外の美術館・博物館や、遺跡の学術的発掘保存に携わる国内各大学からの応募に基づき実施している。過去25年間に内外約960件、21億円を助成してきた。



【音楽 | 全国】

トヨタ自動車株式会社

トヨタ青少年オーケストラキャンプ

各地から音楽を志す青少年が一堂に会してプロの指導を受ける音楽合宿。1980年代より日本アマチュアオーケストラ連盟と連携し、毎年開催される。参加する学生の自主運営スタイルをとり、学生たちは音楽的な技術だけでなく、運営のノウハウをも地元を持ち帰る。地域の音楽文化の担い手となる次世代を多面的に育成している。



【音楽・ダンス | 全国】

TOA株式会社

TOA Music Workshop

音響メーカーのTOAは、子どもの成長過程にあわせて、音楽との出会いを創出する4つのプログラムを展開。このうち音楽とダンスのワークショップ「TOA Music Workshop」では、音響・照明機材を携えてアーティストとスタッフチームを小学校に無償で派遣する。自社が持つホールやスタッフの技術をいかし、メセナ部署のみならず営業部署も巻き込んで運営。NPOや教育機関と連携し、地域とともに音楽を通じた次世代育成に取り組んでいる。



【美術・工芸・建築・生活文化・デザイン・ものづくり | 東京】

パナソニック株式会社

港区および汐留街区と連携した文化芸術普及活動

東京本社の所在地である港区・汐留地区において、「ルオー・美術」「工芸・デザイン」「建築」をテーマに文化芸術普及活動を展開。展覧会や講演会、ワークショップ等を継続して開催し、区立の美術館を保有しない港区の文化活動を推進する。ワークショップでは創業者・松下幸之助が大切にしていた「ものづくりの心」を次世代へ伝えるべく、ガラスや陶芸といった素材と向き合いながら制作する楽しさを伝えていく。



【美術 | 東京】

株式会社パソナハートフル

アート村

「才能に障害はない」をコンセプトに、就労が困難な障害者の「アート」による就労分野の拡大を目的に1992年よりスタート。2003年より他の5事業をあわせ株式会社とした。絵を描くことを業務とするアーティスト社員が多く在籍し、制作された作品の販売やレンタル、展覧会もやっている。障害の度合いやそれぞれの才能にあわせた育成カリキュラムも生まれ、就労と同時に個々の得意分野に特化した制作支援体制も整う。



【音楽 | 京都】

**ローム株式会社
公益財団法人ロームミュージックファンデーション**

京都・国際音楽学生フェスティバル

「音楽」を通じた国際交流と若い音楽家の育成を目的に、世界の代表的な音楽学校より選ばれた学生たちを京都に招き開催するフェスティバル。1993年から毎年実施しており、海外9カ国9校、国内13校の学生が参加。5日間にわたり弦楽器、管楽器、ピアノ、歌などのさまざまなジャンルでソロ、室内楽、オーケストラの演奏を披露する。国を越え、同時代を生きる青年たちの友好の輪を広げている。



【美術・文化遺跡・食文化 その他 | 香川】

公益財団法人福武財団

瀬戸内海文化研究・活動支援助成

瀬戸内海に浮かぶ直島・豊島・犬島を中心に美術館・アート施設の継続的な運営を行ってきた同財団は、活動拠点である瀬戸内海沿岸地域固有の文化に焦点を当てた、幅広いテーマの調査研究活動や地域振興活動への助成支援を行っている。また、瀬戸内国際芸術祭、大地の芸術祭への支援のほか、全国のアート・プロジェクトを「文化と芸術による地域支援の助成」により支援している。

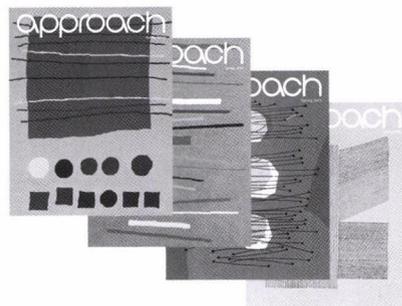


【美術 | 全国】

株式会社IHIエスキューブ

美術館情報サイトArt inn

2006年10月からIHIエスキューブが運営する、美術館の展覧会情報を発信するサイト。編集部はIHIエスキューブの従業員のみで構成され、アートに関するさまざまなニュース記事やコラム、プレゼントコーナーも充実。目玉の展覧会レポートでは、編集部員が実際に現場に足を運び、見どころを丁寧に紹介している。www.art-inn.jp



【美術・建築・文化遺跡・デザイン・ものづくり その他 | 全国】

株式会社竹中工務店

季刊広報誌『approach』

国内外のさまざまな社会的事象や建築文化全般の発信を目的として、1964年に創刊。約50年にわたり発行を続け、大学研究室・国立図書館・公的研究機関・企業経営層・オピニオンリーダー・建築家に広く無料配布してきた。2013年からはWEBでのデジタルブック(日・英)も公開。幅広い分野のテーマに取り組み、時代を超えた不変の価値を求め、社会へ向けて発信し続けている。

www.takenaka.co.jp/enviro/approach/ [日]

www.takenaka.co.jp/takenaka_e/about/pr_magazine/ [英]

企業メセナ 協議会の 事例研究

企業メセナ協議会では2014年度より、外部若手研究員「メセナ・アソシエイト」との協働による、メセナの事例研究に取り組んでいます。アンケートによる「メセナ活動実態調査」や、その他の協議会保有データをもとに研究テーマを設定し、各社担当者への取材を行いながらメセナの質的側面を掘り下げています。



第一期メセナ・アソシエイトによる研究レポート

澤谷夏樹 [音楽評論家]

「アートの質」は玄関に響く——ロビーコンサート四態

研究対象

- 朝日酒造株式会社「SanDoコンサート」
- アサヒビール株式会社「ロビーコンサート」
- 公益財団法人福岡文化財団「プロムナードコンサート」
- 株式会社ホテルオークラ東京「ロビーコンサート25」

宮本典子 [アートマネジメント・コンサルティング office N 代表]

美術体験を広げ、深めるさまざまなメセナ活動

研究対象

- 大塚グループ「大塚国際美術館」
- 損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社「東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館」
- 大日本印刷株式会社「ルーヴル - DNPミュージアムラボ」
- 株式会社帆風「帆風美術館」
- DIC株式会社「DIC 川村記念美術館」

宮本祐輔

[三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 社会システム共創部 コンサルタント]

企業メセナ活動における「企業としての経営効果」についての考察

研究対象

- 株式会社電通「広告小学校」
- キャノン株式会社「綴プロジェクト(文化財未来継承プロジェクト)」
- 株式会社小田原鈴廣社「かまぼこ板絵 国際コンクール 小さな美術展」

西島 綾 [株式会社三菱総合研究所 社会公共マネジメント研究本部 研究員]

米国の民間企業による経済危機以降の芸術文化支援の動向

研究対象

- 全米芸術基金
- アメリカ芸術支援協会

メセナ・アソシエイトによる事例研究レポートは

協議会ウェブサイトにて公開するとともに、事務局でのミニ報告会も実施しています。

2015年度(第二期)メセナ・アソシエイトレポートは2016年春ごろ公開予定です。

www.mecenat.or.jp/ja/introduction/research/post/2/

※筆者の所属ならびに活動名は取材時点での表記に準ずる

公益社団法人企業メセナ協議会 会員一覧

企業メセナ協議会は下記の会員の参加を得て運営しています。

正会員 [138社・団体]		準会員 [33社・団体]	
[特非]アートネットワークジャパン	GMOインターネット [株]	[株]ネクシィーズ	EU・ジャパンフェスト日本委員会
[株]&S BBDO	[株]ジェイティービー	野村ホールディングス [株]	茨城県
[株]IHエスクープ	住友生命保険 [相]	[株]白寿生科学研究所	[公財]いわさきちひろ記念事業団
[株]AOI Pro.	積水化学工業 [株]	[株]博報堂	[公財]神奈川芸術文化財団
朝倉不動産 [株]	[公財]セゾン文化財団	[株]原田	[公財]金谷美術館
[株]アサツー ディ・ケイ	全日本空輸 [株]	バイオニア [株]	[有]カノン工房
アサヒグループホールディングス [株]	ソニー [株]	[株]パソナ	[公財]関西大阪21世紀協会
[株]朝日広告社	損害保険ジャパン日本興亜 [株]	パナソニック [株]	[公財]企業メセナ群馬
[株]朝日新聞社	大正製薬 [株]	[株]パルコ	京都商工会議所
朝日放送 [株]	大成建設 [株]	東日本電信電話 [株]	京都造形芸術大学
[株]極室観光ホテル大黒屋	第一生命保険 [株]	東日本旅客鉄道 [株]	[公財]企業メセナ研究財団
一帆会・昭和電工グループ	ダイキン工業 [株]	久光製薬 [株]	劇団四季
[株]NHKエデュケーション	大日本印刷 [株]	[株]日立製作所	[公財]公益法人協会
[株]NHKエンタープライズ	[株]大和証券グループ本社	[株]ファーストリテイリング	[公財]埼玉県芸術文化振興財団
[株]NHKプロモーション	大和ハウス工業 [株]	[株]フェリスモ	佐賀県企業メセナ協議会
大阪ガス [株]	[株]竹中工務店	富士ゼロックス [株]	[株]シアターワークショップ
[株]大塚商会	[株]チシマエンタープライズ	[株]フジタ	昭和音楽大学舞台芸術政策研究所
[株]大林組	千島土地 [株]	富士通 [株]	[公財]新国立劇場運営財団
[株]沖縄タイムス社	中外製薬 [株]	[株]フジテレビジョン	[公財]せたがや文化財団
オムロン [株]	TOA [株]	富士フィルム [株]	[一社]全日本ピアノ指導者協会
[株]オンワードホールディングス	DIC [株]	ブルームバーグ・エルピー	[公財]たましん地域文化財団
花王 [株]	テルモ [株]	[株]ベネッセホールディングス	出稼会計事務所
鹿島建設 [株]	[株]テレビ朝日	[株]ベネフィットワン	東京都写真美術館
カトーレック [株]	[株]テレビ東京	[株]ホテルオークラ東京	東京都生活文化局文化振興部
関西電力 [株]	[株]電通	[株]毎日新聞社	[公財]東京都歴史文化財団
キョーマン [株]	東京急行電鉄 [株]	[株]マガジンハウス	[株]ニッセイ基礎研究所
キヤノン [株]	[株]東京国際フォーラム	[株]みずほフィナンシャルグループ	[公財]日本芸能実演家団体協議会
京セラ [株]	東京電力 [株]	三井住友海上火災保険 [株]	[公財]八十二文化財団
グリーン [株]	[株]東京ドーム	[株]三井住友銀行	[株]マザーズ
[株]クレディセゾン	[株]東京放送ホールディングス	三井不動産 [株]	水と土の芸術祭2015実行委員会
[株]幻冬舎	[株]東芝	三菱地所 [株]	[公財]水戸市芸術振興財団
[株]講談社	東燃ゼネラル石油 [株]	明治安田生命保険 [相]	[公財]山口市文化振興財団
[株]光文社	[株]東北新社	ヤマトホールディングス [株]	[公財]横浜市芸術文化振興財団
コスモ石油 [株]	[株]東横イン	油機エンジニアリング [株]	
[株]サイバーエージェント	凸版印刷 [株]	[株]吉野工業所	
[株]産業経済新聞社	トヨタ自動車 [株]	[株]読売新聞東京本社	
サンリーホールディングス [株]	中村プレス [株]	LINE [株]	
三和酒類 [株]	日清食品ホールディングス [株]	楽天 [株]	
しずおか信用金庫	日本テレビ放送網 [株]	[株]リクルートホールディングス	飯島 健 一花裕一 石井康之
[株]資生堂	日本電気 [株]	[株]リンノ教育	岩田武司 江上節子 江幡 淳
[株]シベール	[株]ニッポン放送	[株]琉球銀行	[株]扇谷 勉 太下義之 尾崎元規
清水建設 [株]	日本オラル [株]	[株]琉球新報社	加藤種男 最首孝之 白神しのぶ
[株]集英社	[株]日本経済新聞社	ローム [株]	添石幸伸 巽知代 玉川 恵
[株]小学館	[株]日本広告社	六花亭製菓 [株]	塚本真由 永井伸和 中坪功雄
[株]新潮社	日本生命保険 [相]	[株]ワコールホールディングス	野見山 亨 坂東愛子 福川伸次
新日鐵住金 [株]	日本たばこ産業 [株]	ワタキューセイモア [株]	横井葵子 横山利夫

個人会員 [25名]

※氏名公開可の方のみ掲載

飯島 健 一花裕一 石井康之
 岩田武司 江上節子 江幡 淳
 [株]扇谷 勉 太下義之 尾崎元規
 加藤種男 最首孝之 白神しのぶ
 添石幸伸 巽知代 玉川 恵
 塚本真由 永井伸和 中坪功雄
 野見山 亨 坂東愛子 福川伸次
 横井葵子 横山利夫

[2016年3月16日現在・五十音順]

2015年度メセナ活動実態調査 [報告書]

Mécénat Report 2015

2016年3月31日発行

発行人 加藤種男

編集人 末澤汐音 | 荻原康子

デザイン NDCグラフィックス

印刷 株式会社明祥



編集・発行 公益社団法人企業メセナ協議会

108-0014 東京都港区芝5-3-2 アイセザビル8階

Tel.03-5439-4520 | Fax.03-5439-4521

調査の企画・分析は、協議会会員企業の

メセナ担当者を中心に構成する調査研究部会が行っています。

2015年度調査研究部会

部会長 吉村真也 | TOA [株]

副部会長 金井 圭 | 損害保険ジャパン日本興亜 [株]

藤原朋子 | トヨタ自動車 [株]

山口大輔 | バナソニック [株]

吉本光宏 | [株]ニッセイ基礎研究所

企業メセナ協議会のWEBサイトでは、これまで実施した
各種調査の報告書、解説資料等を公開しています。

www.mecenat.or.jp/ja/introduction/research/



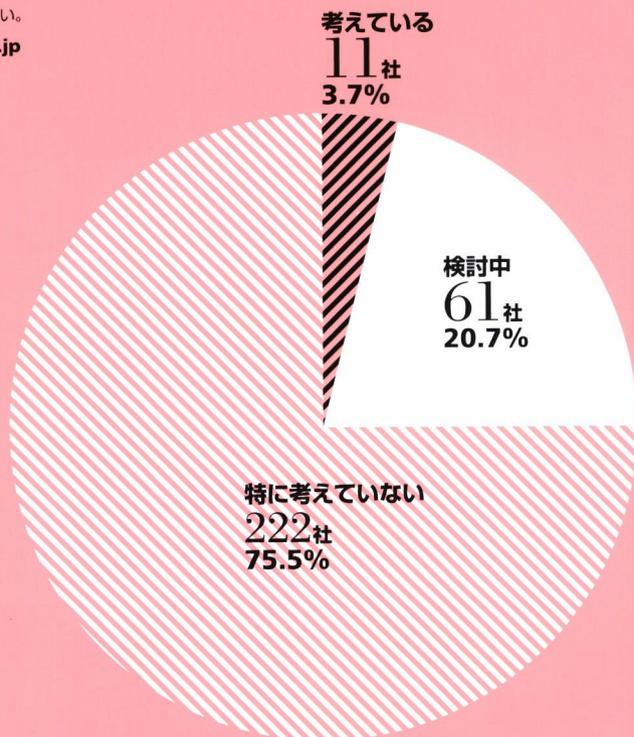
本調査は、「平成27年度次代の文化を創造する
新進芸術家育成事業」として文化庁から委託を受け、
企業メセナ協議会が実施しました。

©企業メセナ協議会

本誌掲載記事の無断転用を禁じます。



公益社団法人企業メセナ協議会は、
企業や芸術・文化にかかわる
団体・個人が集い、
芸術文化の振興とこれを通じた
社会創造に取り組んでいます。
詳しい事業内容は
WEBサイトをご覧ください。
www.mecenat.or.jp



2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた 文化プログラムの実施予定〔企業〕

企業数ベース N=294